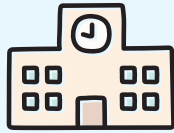




学校給食の無償化

自・公・維はなぜ反対？



市民の請願が不採択に

9月議会に提出された「学校給食の完全無償化」を求める請願は、下の表の通り柏清風、公明党、共創かしわなどの反対で不採択とされました。

学校給食の完全無償化は、2023年9月の全国調査では、6年前の76自治体から547自治体に急速に広がっています。千葉県内でも54自治体のうち、松戸市、市川市など20自治体が完全無償化を実現しています。

国政では自民・公明・維新の「3党合意」で、2026年度からの実現が掲げられましたが、参院選後具体的な動きが見られません。柏市議会でもこれら3党の市議は請願に背を向けています。給食無償化はポーズだけなのでしょうか。



日本共産党は国の制度として実施されるまでは柏市
独自に実現することを求めています。

同じ柏市の学校なのに格差

市長、沼南の自校給食に後ろ向き

4年前の市長選挙では「学校給食のセンター化」の是非が大争点になり、「旧沼南地域を含む自校給食の推進・拡大」を約束した市長が誕生しました。しかし、旧柏地域の自校方式は維持されていますが、旧沼南地域での導入は全く進んでいません。

柏市が委託した調査では、沼南のすべての小中学校で「自校方式の導入は可能」という結果が出ています。日本共産党は9月議会でもこの問題を取り上げ、老朽化した給食センターの建て替えと並行して、計画的に自校方式の学校を増やしていくよう求めました。市長は「沼南地域の学校は敷地が狭い」などの理由で導入には後ろ向きです。同じ柏市の学校でありながら教育条件の格差を解消しようとし不在の姿勢は問題です。

自民・公明、柏市議会でも過半数割れ

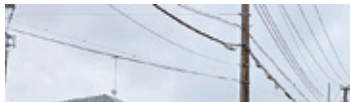
9月議会、これまで12人だった柏清風（自民系会派）は、会派の運営に批判的な議員など5人が抜け7人になりました。清風と公明党で過半数を取れず、自民・公明以外の議員が議長に就任しました。これまでほとんどなかった全会派での話し合いがもたれ、議会改革が議題になるなど変化が生まれています。日本共産党は、柏市議会が市民に開かれた、市民の願い実現に働く議会となるよう頑張ります。

柏公園近くに停留所

ワニバース市役所ルートで計画

日本共産党が長い間求めてきた柏駅から市役所へのバス路線は、ワニバースの市役所ルートとして2年前に実現しています。この路線は市役所を出ると文化会館、ウェルネス柏（保健所）を往復します。沿線のみなさんからは、市役所と文化会館の間に停留所がほしいとの強い要望が届いています。

日本共産党は9月議会で、実現に向けての取り組みの状況を確認し、停留所の早期設置を求めました。今後、道路拡幅工事が行われ、停留所についてはその後検討を進めるとのことです。


 A photograph showing a yellow bus stopped at a bus stop. The bus is on a red-paved road. In the background, there are houses and trees. The bus stop is marked with a white sign on the red pavement.
 
 A photograph showing a yellow bus stopped at a bus stop. The bus is on a red-paved road. In the background, there are houses and trees. The bus stop is marked with a white sign on the red pavement.

拡幅が計画されている道路を走るワニバス

ごみの戸別収集
利用者の7割超が「対象外」



要件の緩和が必要です

日本共産党の提案で柏市でも始まったごみの戸別収集（ごみ出し困難者支援収集事業）の利用者が増えています。

制度の利用には申し込みが必要で、「要介護3以上」「身体障害者手帳の2級以上」などの要件が設けられています。しかし、これらの要件を満たしていないけれども、実際に集積所までのごみ出しが困難で、介護事業者や民生委員、医師などの意見書を付けて申請するケースが7割を超えていることが、日本共産党の質疑で明らかになりました。

制度を利用している方の実態に合わせて要件を緩和すること、既存の集積所にごみが出せない「特別な事情」も対象にするなど制度の改善が必要になっています。



制度の導入を求めた日本共産党市議団ニュース
(2020年1・2月号)

市民の請願への会派・議員の態度

請願 36 号 -1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	議長	○	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
請願 35 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	○	○	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	採 択	
	田口 康博	平野 光一	武藤美津江	矢澤 英雄	渡部 和子	伊藤 誠	内田 博紀	岡田 智佳	鈴木 清丞	永山 智仁	渡辺 裕二	林 紗絵子	松本 寛道	若狭 朋広	佐藤 浩	福元 愛	山田 一一	坂巻 重男	末永 康文	村越 誠	上橋しほと	北村 和之	小川百合子	小松 幸子	田中 晋	塚本竜太郎	中島 俊	橋口 幸生	林 伸司	阿比留義顯	後藤浩一郎	桜田慎太郎	助川 忠弘	円谷 憲人	古川 隆史	渡邊 晋広		
	日本共産党				みらい構想かしわ				市民 サイド		共創 かしわ		無所属の 会	柏エナ ジー	公明党				柏清風																			

請願 36-1：国の動向を待たず学校給食の完全無償化を 請願 35：刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

市民に負担増の一方で巨額のため込み金

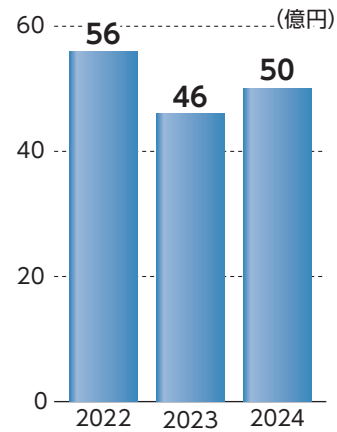
日本共産党、2024年度決算に反対

日本共産党市議団は、2024年度柏市一般会計、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各会計の決算に反対しました。

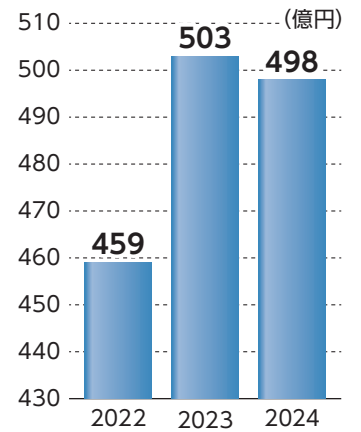
昨年度、柏市は国民健康保険料の6年連続の値上げを決定し、平均8500円も引き上げました。介護保険料も後期高齢者医療も値上げされました。学校給食費は値上げ分を市が補填しましたが、給食費引き上げは子育て支援に逆行します。市民の暮らしが厳しくなっている時、新たな負担増を押し付けることは認められません。

昨年度は一般会計で50億円の黒字を出し、基金（貯金）は積み増しされています。何にでも使える財政調整基金の残高は160億円、そごう跡地取得に使う都市整備基金は59億円です。柏駅周辺開発や小中一貫校を強引に進めるのではなく、事業の優先順位を見極め、不要不急の事業の見直しで、まずは困窮する市民の暮らしを支えることを再優先すべきです。

過去3年の
一般会計黒字額



溜め込み金(基金)
の変化



『子ども版防衛白書』は大問題



防衛省が学校に配布

防衛省は、子ども版「防衛白書」を全国約2400の小学校に計6100冊配布していました。中国やロシアなど特定の国を名指しして脅威をあおり、軍事力強化を正当化し、政治的に意見が分かれている安全保障政策などについて、政府の見解を一方的に教え込む内容になっています。

「様々な国々にルーツを持つ子どもたちも在籍している。傷ついたり児童が出てくる可能性もあり、配慮を要すると考えて、職員室などで保管している」（長崎市教育委員会）。「この冊子だけでは、子どもたちが『日本の安全は軍事力だけで守られる』という一面的な見方に陥ってしまう危険性がある。多角的・批判的思考を養う訓練が不十分な小学生に与えることは問題がある」（長崎大学 中村桂子准教授）など、戸惑いや懸念が広がっています。

9月議会での日本共産党の質問に柏市教育委員会は、柏市内の小中学校への配布はないとし、長崎市教委と同様の見解を示しました。共産党は、今後も学校への配布がされないよう対応を求めました。

ソーラーシェアリング 脱炭素も農業も推進



共産党、導入を提案

地球温暖化の問題は深刻です。共産党柏市議団は、県内匝瑳市の「ソーラーシェアリング」の会社の施設見学を行いました。広大な耕作放棄地などにソーラーパネルを最適に設置し、その下で農作物を育てていて、地球環境を守り、持続可能な地域・社会を実現する画期的な手法の1つという印象を持ちました。23haで約6メガワット（約2000世帯分）の発電能力があります。国内・海外から多くの視察・研修が訪れ、立地する匝瑳市は、環境省より脱炭素先行地域に選定されています。

共産党は9月議会で、柏市でも増加している耕作放棄地などを有効活用し、柏市で始まる自治体新電力事業と連携するなどの検討を求めました。

これに対し柏市は、「ソーラーシェアリング」は、脱炭素の推進や農業者の収入向上、地域経済の活性化などの効果が期待できる事業であり、今後、市内農業者へのヒアリングや先進地域の事例研究、国の制度や事業の動向等、情報収集を行うと答弁しました。



ソーラーパネルの下で栽培される大豆（匝瑳市）

保護者から「行事の削減、簡素化ばかり」「成長の機会増やして」の声

誰も望まない超マンモス校 教委は「問題なし」というが



市は、柏一小と旭東小を統廃合し、柏中学校敷地内に超大規模小中一貫義務教育学校をつくらうとしています。これまで大規模校では子どもたち一人ひとりを大切にできないと議論してきたことに対し、教育委員会は、市内の900人を超える学校は何の問題もなく運営できていると答弁してきました。さらに前議会では、つくば市議会での議論を元に、規模が大きいことによる効果が報告されているので参考にしていくと、「大規模校が有効」ともとれる答弁をしました。

しかし今議会で日本共産党が示したように、十余二小学校（児童数1347人）の保護者からは、学校評価の意見として「行事の削減、簡素化ばかりで残念。成長の機会を増やしてほしい」「友だちと外遊びできる時間を増やしてほしい」など、大規模校の問題点が学校に多く寄せられています。また田中北小学校（児童数1198人）は自らの学校評価で、「保護者と学校の距離が遠くなってしまった」と発表しています。

いま柏市がをつくらうとしている小中一貫義務教育学校は、開校時でも1362人、人口増によっては1800人を超えることも予想される超マンモス校です。そんな学校は保護者も教員も誰も望んでいません。

SNSでのデマ拡散 について質問

柏市「外国人優遇ない」

「生活保護受給者の3分の1は外国人」「国保に加入している外国人が高額な医療を受けている」——このような、生活保護や国民健康保険などで外国人が優遇されているというデマがSNSで拡散されています。

市に実態を質問したところ「生活保護を受けている外国人は1・9%、国保加入者は8%だが、国籍による優遇はない」と明確に答弁。デマを拡散して外国人差別をあおる「日本人ファースト」ではなく、日本人も外国人も差別なく、一人ひとりの尊厳が守られ、大切にされる共生社会をめざしましょう。